

施策評価シート

施策等名称	利用者本位の福祉サービスの取組と支援	体系番号	0101010204
		主管課	高齢者・保険課

1 施策基本情報

現状と課題	介護が必要になっても、「自分らしい生活」を送ることができる社会が望まれおり、支援や介護が必要な方々が、必要な制度やサービスを自主的に選択ができることや、支える側がどのように支援していくかが大きな課題となっている。また、居宅介護支援事業所のケアマネジャー（介護支援専門員）やサービス提供事業者の不足も懸念されている。さらに、認知症高齢者や高齢者のみ世帯の増加に伴い、認知症高齢者が認知症高齢者を介護する「認知（にん）にん）介護」も増えてきている状況にある。適切な認知症対応や専門的なケアを提供する事業者を増やすこと、また、地域密着型サービスの整備などが必要とされている。
めざす将来像 (あるべき姿、基本的な考え方)	介護保険や福祉サービスの情報を正しく伝えるとともに、介護が必要になってからも自宅や地域で生活が継続できるよう、利用者本位の介護・福祉サービスの利用から生活支援に至るまで、総合的な取り組みを進める。また、保健福祉サービスセンターや、居宅介護支援事業所のケアマネジャーのマネジメント力の向上を図るとともに、民間の事業者の質も向上させ、利用者にとって有効なサービスの利用につながるよう、基盤整備を含めた取り組みを進めていく。

施策指標	指標名称	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値	2027年度目標値
	①	施設への非入所率	施設入所者を除く事業利用者数÷事業利用者総数(%)	90.00	90.00
②	介護相談員訪問施設数	介護相談員が訪問する施設の数(施設)	24.00	30.00	
③					

施策の柱 1	名称	認知症の方を地域で支える支援の推進		主管課	高齢者・保険課		
	詳細	認知症の方を地域で支えるために、①認知症の理解、②認知症の早期発見・早期治療、③認知症の人やその家族の支援、のそれぞれに係る事業を継続実施するとともに、地域を含めた支援体制の仕組みづくりを検討していく。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	認知症高齢者家族の会開催回数	認知症の高齢者を抱える家族の会の開催回数(回/年)	12.00	16.00	1 認知症高齢者家族相談事業	実施
	2	位置検索装置利用者数	徘徊時に位置を特定できる装置の利用者数(人)	0.00	2.00	2 認知症総合支援事業 3 徘徊高齢者家族サービス事業	実施
	3				4 5 6		

基本政策間連携

施策の体系	名称	認知症サポーターの養成と活用の推進		主管課	高齢者・保険課		
	詳細	地域において認知症の理解を広めるための認知症サポーターの養成を進め、サポーターが地域の大きな力となれるよう、認知症だけに留まらず、介護予防全般の活動にも関わられるためのスキルアップを図る。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	認知症サポーター養成講座開催回数	認知症サポーター養成講座の開催回数(回)	5.00	10.00	1 認知症サポーター養成事業	実施
	2				2 3 4		
	3				5 6		

基本政策間連携

施策の柱 3	名称	在宅医療・介護連携の推進		主管課	高齢者・保険課		
	詳細	高齢者が疾病を抱えても、自宅などの住み慣れた場所で安心して生活ができるよう、医療と介護の連携を充実させていく。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	医療・介護連携推進会議開催回数	医療・介護連携会議の年間開催回数(回)	0.00	3.00	1 在宅医療・介護連携推進事業	実施
	2	介護相談員の訪問事業所率	介護相談員訪問事業所数÷市内対象事業所数(%)	65.00	100.00	2 介護相談員派遣事業	実施
	3				3 4 5 6		

基本政策間連携

施策評価シート

施策等名称	利用者本位の福祉サービスの取組と支援	体系番号	0101010204
		主管課	高齢者・保険課

※施策の柱が4つ以上ある場合は下記へ記載

施策の柱 4	名称	地域ケア会議の推進	主管課	高齢者・保険課			
	詳細	保健福祉サービスセンターが行っている高齢者の個別ケア会議の地域版として、専門職や地域の関係者にも参加をしていただける「地域ケア会議」を設置し、地域の課題解決につなげていく。					
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	地域ケア会議参加者数	地域ケア会議への年間参加者延人数(人)	203.00	400.00	1 地域ケア会議推進事業	実施
	2				2		
	3				3		
					4		
					5		
					6		
	基本政策間連携						
	施策の柱 5	名称	生活支援サービスの充実・強化	主管課	高齢者・保険課		
		詳細	高齢者の増加に伴い、今後、医療や介護サービス以外にも、日常生活支援(配食サービスや見守りなど)を必要とする方も増加していくことが予想されている。市内10地区に「生活支援コーディネーター」を配置し、各地区の課題に応じた生活支援体制整備を進める。				
まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
1		協議体設置数	事業推進において市内10地区で設立を要する協議体の設立数	0.00	10.00	1 生活支援体制整備事業	実施
2					2		
3					3		
					4		
					5		
					6		
基本政策間連携							
施策の柱 6		名称	ふれあい保健福祉事業の再編と充実	主管課	高齢者・保険課		
		詳細	平成12年度から高齢者・介護施策が「措置」から「介護保険制度」へと移行したことに伴い、措置の時期のサービス量との差を生じさせないことや、在宅生活の推進、さらには介護保険サービスの負担限度額を超える利用に対応するため、独自に「ふれあい保健福祉事業」を創設し、各種のサービスや事業を実施する。				
	まちづくりの目標指標	指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
	1	施設への非入所率	施設入所者を除く事業利用者数 ÷ 事業利用者総数(%)	90.00	90.00	1 短期入所事業	実施
	2				2 訪問サービス事業	実施	
	3				3 通所サービス事業	実施	
					4		
					5		
					6		
	基本政策間連携						
	施策の柱 7	名称		主管課			
		詳細					
まちづくりの目標指標		指標の説明(単位)	計画策定時	2022年度目標値 2027年度目標値	柱を構成する主要事務事業	区分	
1					1		
2					2		
3					3		
					4		
					5		
					6		
基本政策間連携							

施策等名称	利用者本位の福祉サービスの取組と支援	体系番号	0101010204
		主管課	高齢者・保険課

2 指標等の推移と変動要因

体系区分	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
指標No.		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
施策	施設への非入所率	90.00	90.00				
1		90.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	短期入所、訪問・通所サービスを利用する高齢者の内、施設入所となった高齢者は、計画策定時と変動なし。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
施策	介護相談員訪問施設数	24.00	24.00				
2		30.00	80.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	介護相談員訪問施設数は、計画策定時と変動なし。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	認知症高齢者家族の会開催回数	12.00	12.00				
1		16.00	75.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	認知症高齢者家族の会開催回数は、計画策定時と変動なし。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱1	位置検索装置利用者数	0.00	0.00				
2		2.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	利用者なし。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱2	認知症サポート養成講座開催回数	5.00	7.00				
1		10.00	70.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	講座開催の要望団体が増加。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱3	医療・介護連携推進会議開催数	0.00	3.00				
1		3.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	医療・介護連携推進会議を年3回開催。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	利用者本位の福祉サービスの取組と支援	体系番号	0101010204
		所管課	高齢者・保険課

No.	成果指標名	計画策定時	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
		中間目標値	実績値 / 達成率(実績値÷目標値)				
柱3 2	介護相談員の訪問事業所率	64.00	65.00				
		100.00	65.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	計画策定年度から微増。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱4 1	地域ケア会議参加者数	150.00	203.00				
		400.00	50.75	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	会議テーマの内容により参加者の増加。(年に2ヶ月に1回開催。)					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱5 1	協議体設置数。	0.00	7.00				
		10.00	70.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	市内10地区に協議体の設立を推進し、7地区で設置完了。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
柱6 1	施設への非入所率	90.00	90.00				
		90.00	100.00	0.00	0.00	0.00	0.00
変動要因等	2018年度	施設入所者個人の入れ替えはあったが、入所者の総体数は変動なし。					
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						
			#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!
変動要因等	2018年度						
	2019年度						
	2020年度						
	2021年度						
	2022年度						

施策等名称	利用者本位の福祉サービスの取組と支援	体系番号	0101010204
		主管課	高齢者・保険課

3 評価・改革改善

(単位:円)

項目		2018年 (前年度比)	2019年 (前年度比)	2020年 (前年度比)	2021年 (前年度比)	2022年 (前年度比)
投資額	事業費(円)	33,228,509	36,309,000	1.09		
	うち一財(円)	3,704,842	3,552,000	0.96		
	増減理由 (一般財源 前年度比 ±10%以上 の場合に 記載)					
進捗評価		おおむね順調				
総合評価	主な取組内容や成果	生活支援体制整備事では、生活支援コーディネーター(地区社協職員)が中心的な役割を担い、地区コミュニティセンターとも連携し、事業推進の要件である協議体の設置について、全地区で検討が行われた。				
	課題	介護施設の入所待機者が増加しており、今後さらに高齢者が増えていく状況下で、入所できる施設が不足している。				
改革・改善	改革・改善内容	地域包括ケアシステムの確立を進める中で、施設入所に頼らず、在宅で介護ができる仕組みづくりを検討・推進していく。				
	重点化する施策の柱					
	重点事務事業	1				
理由	入所施設が不足している状況を踏まえ、介護保険サービスを補う「ふれあい保健福祉事業」を継続実施することで、高齢者の家族・介護者の負担を軽減し、施設入所に頼らない方向へ進めていきたい。					

作成担当者	牛山 浩				
最終評価責任者	両角 直樹				
最終評価年月日	2019年5月17日				